

平成29年12月1日

会員各位

協会だよりー300(12月号)

JCRA (Japan Catalyst Recovering Association)
触媒資源化協会

祝 協会だより300号発刊 (25年間の成果!!)

トピックス:

- CMAJ・JCRA 共催講演会の開催
日時: 2017年12月4日(月)15:00~17:00
会場: 学士会館 (東京都千代田区神田錦町3-28) 202号室
演題: 「エレクトロニクス市場動向と日本の製造業」
講師: 金澤洋平殿(株式会社SSC)
- 第36回 JSCRA 会(協会ゴルフ大会)の開催
開催日: 平成30年1月25日(木) 8時30分クラブ集合
コース: 総武カントリークラブ総武コース西コース (9:22➡)
- 第235回月例会(講演会・新年会)は平成30年2月8日(木)如水会館(神田一ツ橋)にて開催が決定しています。



紅葉の袋田の滝 (茨城県久慈郡大子町)

- 一. 協会よりのお知らせ
【実施済事項】
- 二. 計報 (黒田英夫氏(第二代専務理事))
【予定事項】
- 三. 一泊研修会報告
- 四. 事務局より (十二月度の予定)
- 五. 【雑学】堺の歴史を探訪して

1. 協会よりのお知らせ

【実施済事項】

- ① [協会だよりー299 \(11月号\)](#) をメール&郵便で送信 (11/1)

② 第四回運営委員会

日 時：平成29年11月16日(木) 16:00~17:00
場 所：堺化学工業(株)東京支店会議室(友泉岩本町ビル2F)
議 題：235回月例会(講演会・新年会)の準備・その他
出 席：運営委員及び第235回月例会の幹事会社、専務理事
[予定事項]

① CMAJ・JCRA 共催講演会の開催

日 時：2017年12月4日(月)15:00~17:00
会 場：学士会館(東京都千代田区神田錦町3-28)202号室
演 題：「エレクトロニクス市場動向と日本の製造業」
講 師：金澤洋平殿(株式会社SSC)
申込期限：2017年11月20日(月)

② 第五回運営委員会(平成30年1月開催です)

開催日：平成30年1月18日(木)16:00~17:00
場 所：堺化学工業(株)東京支店会議室(友泉岩本町ビル2F)
議 題：第235回月例会の準備
出 席：運営委員及び第235回月例会の幹事会社、専務理事

③ 第36回JSCRA会(協会ゴルフ大会)の開催(平成30年1月開催です)

開催日：平成30年1月25日(木) 8時30分クラブ集合
コース：総武カントリークラブ総武コース西コース(9:22➡)

④ 第235回月例会(講演会・新年会)の開催(平成30年2月開催です)

開催月日：平成30年2月8日(木)14:30~
開催会場：如水会館(神田一ツ橋)
講演題目：1. 堺化学工業(株)様より 2件
新年会：同会館にて開催
備考：ご案内は11月16日(木)開催の運営委員会で決議後する予定です。

2. 訃報(第二代専務理事 黒田英夫氏)

(株)徳力本店OBの黒田英夫さんが、この10月4日に逝去されました。奥様より協会へご連絡があり、心よりご冥福をお祈り申し上げます。黒田さんは初代専務理事の舟山三男さんより引き継いで第二代専務理事として平成4年より平成11年の7年間、酒席では、にこやかに、且つ仕事では厳しく協会の礎を築かれました。「協会だより」の発刊も25年前(平成4年)、黒田さんの時代に始まり現在、この12月号で300号となりました。また協会役員経験者のOB会を立ち上げ「スイジン(粹人?)会」の名称の命名者でもあります。協会の30周年創立記念祝賀会に出席された生前のご写真を紹介し黒田さんのご冥福をお祈りしたいと存じます。合掌!



3. 一泊研修会報告

2017年10月27日金曜日、好天に恵まれ、触媒資源化協会一行は大阪府堺市、南海本線堺駅前にあるアゴラリージェンシー堺ホテルに集合しました。

堺駅と言えば当協会会員企業でもある、堺化学工業株式会社さんの本拠地でもあります。今回は別の見学先となりました。移動、宿泊の手配等、新崎さんにはお忙しい中ご尽力頂き誠に有難う御座いました。

今回の見学先は大栄環境グループの株式会社DINS堺、RAC事業所とバイオエタノール事業所で大阪エコタウンプランの事業として北臨海工業地帯という巨大な工業団地内に位置しています。



RAC (Recycling Assort Center) 事業所では建廃等を中心に混合廃棄物の高度選別が行われています。選別工程としては手選別が2工程、機械選別が7工程あり非常に精度の高い選別が行われておりました。最大処理能力は500t/日、再資源化率は95%との事で、選別されたコンクリートガラ類や石膏ボード、木くず等の各種原料は大栄環境グループの各リサイクル施設に搬入され無水石膏やRPF燃料などに加工され再資源化が行われています。



続いてRAC事業所の隣に位置するバイオエタノール事業所ではRAC事業所で選別された木くずや廃棄飲料類等の原料から糖分を回収し、それらを発酵、蒸留させバイオエタノールの製造を行っています。原料として使われた木くず等の残渣はボイラー発電設備に投入され自社使用分の電力+売電分の発電を行っているとの事でした。

今回見学させて頂いたRAC事業所は24,000平米、隣のバイオエタノール事業所が15,000平米と非常に大規模な設備となっており、選別後の原料まで、他の大栄環境グル

ープ内でリサイクル処理出来るという一貫した素晴らしい処理スキームを拝見させて頂くことが出来ました。



バイオエタノール原料の廃木材



アルコール蒸留塔の前で

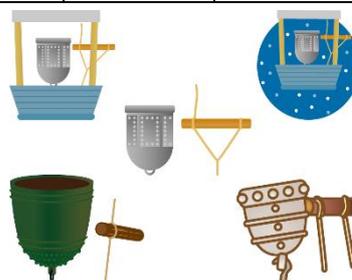
このような見学をさせて頂いた大栄環境グループ様に改めて御礼申し上げます。

執筆：横浜金属株式会社 岡野由宇

岡野さん見学記執筆有難うございます(事務局より)

4. 事務局より (12月度の予定) 12月出勤予定：8日間、赤・個人予定あり。

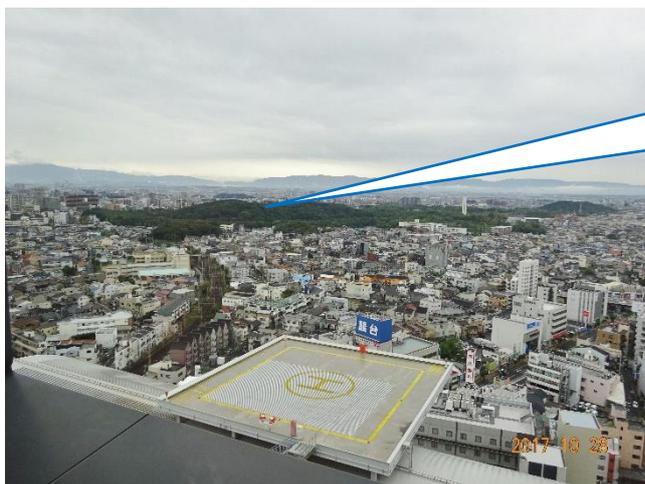
日	月	火	水	木	金	土
11/26	11/27	11/28	11/29	11/30	1	2
× (M)	×	○	× (M)	○	×	× (F)
3	4	5	6	7	8	9
× (F)	共催講演会	× (G)	× (C)	○	×	× (W)
10	11	12	13	14	15	16
×	×	○	× (G)	○	×	×
17	18	19	20	21	22	23
×	×	○	×	○	×	天皇誕生日
24	25	26	27	28	29	30
×	×	○	×	○	×	×
31	1/1	1/2	1/3	1/4	1/5	1/6
×	元日	×	×	×	○	×



5. 【雑学】堺の歴史を探訪して

触媒資源化協会のリサイクル施設見学研修会で堺市を訪れた。翌日は駆け足で有ったが、堺の古代より現代の要所を探訪した。堺市には仁徳天皇陵古墳、履中天皇陵古墳、反正天皇陵古墳などが市中に存在する。良く教科書などで見る仁徳天皇陵の写真は上空から撮ったものだろう。私達はまず観光ボランティア・ガイドさんより堺市役所21階展望ロビー(80m)に案内され、東西南北の堺市の説明を受ける。

下の写真を見てください。ガイドさんに、こちらの方向が仁徳天皇陵古墳と大仙公園ですよと言われたが小高い森林群にしか見えない。



堺市役所21階展ロビーより見た小高い森が仁徳天皇陵古墳・大仙公園だろう。

高度400mほど上空からでなければ、前方後円墳の形や三重の濠は判らないと言われる。ボランティアさん曰く。西国より伊丹空港へ向かう飛行機のA席に座ると上空を通過するので拝観出来るそうである。

ここで、古墳の前に、少し仁徳天皇、履中天皇、反正天皇の歴史を復習して見よう。

《第十六代 仁徳天皇》

「日本書紀」によれば、第十五代 応神天皇の第四子で、名を大鷦鷯尊(おおさざきのみこと)といった。仁徳天皇の時代には、盛んに大阪平野の開発が進められた。天皇は、わが国は土地が広いわりに耕地が少ないこと、たえず長雨によって河川は氾濫し海水と混じって家屋や田畑を荒らしていることを憂い、大溝の掘削や堤防工事などの土木工事の推進を命じた。天皇の崩御については「古事記」が八十三歳で亡くなったと記すにとどまる。陵墓である百舌鳥耳原中陵(もずのみみはらのなかのみささぎ)は、大阪府堺市の大山(だいせん)古墳に比定されることも有るが、これを疑問視する見解も根強く存在する。

《第十七代 履中天皇》

父は仁徳天皇、「古事記」に大江之伊邪本和氣命(おおえのいざほわけのみこと)とあり、「日本書紀」に去来穂別天皇(いざほわけのすめらみこと)と見える。天皇は在位六年にして崩御し、百舌鳥耳原南陵(もずのみみはらのみなみのみささぎ)(大阪府堺市石津ヶ丘)に葬られたとされる。

《第十八代 反正天皇》

仁徳天皇を父とし、淡路島に生まれ「古事記」に蝮水歯別命(たじひのみずはわけのみこと)、「日本書紀」には多遲比瑞齒別天皇(たじひのみつはわけのすめらみこと)とその名がみえる。在位五年で崩御、「古事記」によると享年六十であったと伝えられている。陵墓は現在の大阪府堺市北三国ヶ丘町にある、百舌鳥耳原北陵(もずのみみはらのきたのみささぎ)に比定される。

《仁徳天皇陵古墳》

堺市役所展望ロビーに展示してある写真で古墳を見てみよう。



左の写真(百舌鳥古墳群)で、手前に大きく見える古墳は御廟山古墳で、写真の奥にある古墳が仁徳天皇陵古墳であり遠近法で実際と違って見える。右の写真が上空から仁徳天皇陵古墳を写したものである。

仁徳天皇陵古墳は、墳丘長 486m、高さ 35mで周囲の三重の濠を含めると全長 840m、全周 2850mもある前方後円墳である。前方後円墳は日本独自の古墳の形の墳墓で、その中でも最大の仁徳天皇陵古墳は、前方後円墳を代表する古墳である。古墳からは円筒をはじめ人物や水鳥、馬などの埴輪が出土しており、これらの特徴から仁徳天皇陵古墳は5世紀中頃に作られたと考えられている。



左の写真は雨の中、拝所より古墳を遙拝したものである。クフ王のピラミッド、秦の始皇帝陵と並び世界三大墳墓と称されている。周囲を三重の濠が取り囲み、さらにその外側には、10基以上の中小古墳が隣接して作られた。一帯に現存する古墳と合わせて44基をもって百舌鳥古墳群と呼ばれている。古市古墳群(羽曳野市・藤井寺市)と共にユネスコの世界遺産暫定リストに記載されている。

拝所手前には仁徳天皇陵古墳と手前にある孫太夫山古墳の大きさを比較する石の平面モニュメントが展示されている。

大仙公園エリアマップによると、仁徳天皇陵古墳の展望スポットはJR三国ヶ丘駅(みくにん広場)にあるらしいが、今回は残念ながら、みくにん広場は訪問していない。

ガイドさんは大仙公園内にある堺市博物館を見学するとVRで壮大な景色が体験できるのに！と残念がっていたが、再度堺を訪れるチャンスが欲しいものだ。

次に、堺旧市街地エリア名所・旧跡のマップを示す。





上の地図を見てください。今回探訪した施設は南海本線堺駅、南海高野線堺東駅、JR 阪和線三国ヶ丘駅に囲まれたような狭いところに所に展開している。

江戸時代の町割りである大小路を境として摂津（現在の大阪府北中部）と和泉（現在の大阪府南西部）の二国の境線があった。「堺」という地名もこの立地に由来している。

《さかい利晶の杜》堺市堺区宿院町西 2-1-1

1 階は千利休と茶の湯を歴史と文化から解き明かす千利休茶の湯館で、「千利休と堺のまち」「千利休と茶の湯」「千利休とその後」の3コーナーから、千利休と堺のかかわりを読み解くミュージアムである。

2 階は与謝野晶子の表現世界とその生き方に触れる与謝野晶子記念館となっている。鉄幹さんの女性遍歴はかなりのものらしいが、



鉄幹と晶子は恋愛に落ち駆け落ちのごとく堺を去ったが、夫婦仲は良かったようで 12 人もの子を為している。文学に乏しい私にとって与謝野鉄幹と晶子夫妻の主催した詩集「明星」に岩手の生んだ詩人琢木が参加していたという位しか知識がなかった。衆議院議員であった与謝野馨が孫であるのは知っていたが。

堺出身の利休の利と晶子の晶を合わせて利晶の杜と名付けたようだ。

利晶の杜施設を出て、隣接している場所が「千利休屋敷址」である。



ほんの 100 坪ほどの公園となっているが、本来は豪商なので 3000 坪有ったと言われていた。利晶の杜の近く堺伝統産業会館隣には、フランシスコ・ザビエルが堺に来た謂れからザビエル公園がある。

《堺伝統産業会館》堺市堺区材木町西 1-1-30

堺の伝統産業を一堂に集めた施設。二階の刃物の展示場は一見の価値がある。様々な珍しい刃物や、プロ用刃物が展示されている。工業都市でもあった堺、中世より独自の知恵で生き抜いた堺は、織豊の時代より徳川の時代まで武士が必要とした鉄砲の製造、刀剣の製造技術が、平和の時代には民生用の刃物製造、自転車の生産等の金属加工に技術が伝承されてきた物であろうか。その他に、線香、技晒・ゆかた、敷物、昆布加工、和菓子等の体験・学習・展示コーナーがある。

見学終了後、堺山之口商店街近くの「割烹たけむら」(堺市堺区大町東 1-2-5) で和食のコース料理と地酒を一時間ほど味わい堺歴史探訪は終了となった。

《参照》

1. 古事記・日本書紀、監修：多田元
株式会社西東社 (2014・1・10 発行)
2. 歴代天皇総覧、笠原英彦、中公新書
1617 (2016・7.25 28 版)
3. 堺観光ガイドブック、堺観光コンベンション協会



記：小林尚道

【文責：専務理事】